

ヒストリックランドマーク整備事業 取組方針（案）

1 目的（歴まち計画書より）

観光の核となる歴史的建造物を含めた街並みの質を向上させるため、前橋の歴史を象徴する建造物や構造物（ヒストリックランドマーク）、及びその周辺における修景整備や環境整備を実施し、エリア価値の向上や訪日外国人を含めた旅行客の満足度向上によるインバウンドの促進を図る。特に、各所へ至る案内板については、老朽化対策として旧町名の由来等を記した板面への更新や新設を検討する。また、すでに滅失された石碑や銅像等の歴史的な特徴物の復元設置についてもあわせて検討する。

2 手法 ※将来的には AR・VR プロジェクトとリンク

（1）旧町名の表示

- ①既存案内板がある旧町区域→板面更新
- ②既存案内板がない旧町区域→既存移設と板面更新

（2）その他のヒストリックランドマーク

①歴史的事件の記憶

・前橋空襲爆撃中心点 ・一府十四県連合共進会祝宴場 ・ネオン初掲出地点 など

②失われた建築物の記憶

・波宜亭 ・住吉屋旅館 ・前三デパート ・時の鐘 ・麻屋百貨店 ・屋号看板

3 目安

（1）旧町名

厩橋地区内における旧町名の表示（最大 30/44）を目標とし、年度あたり更新 4 箇所・移設 2 箇所の 5 か年計画とする。実施箇所は、該当する自治会を含む専門部会協議にて決定する。財源は街並み環境整備事業（1/2 補助）とする。

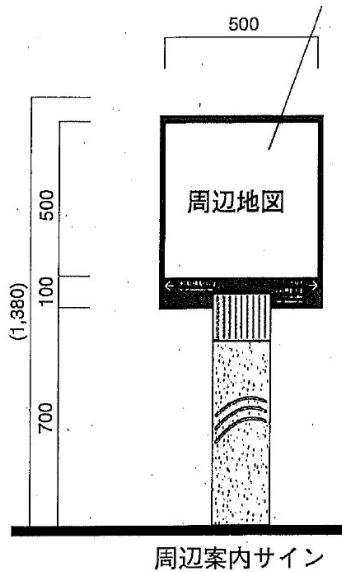
（2）その他

厩橋地区、総社・総社山王地区の双方を対象とし、年度あたり 1～3 箇所を目標とする。実施箇所・内容は、常任委員協議にて決定する。財源は、ぐんま食と歴史文化財団補助金（1/1 補助）とする。

4 板面デザイン (案)

【旧町名表示のデザイン】

○周辺案内サイン



このあたりは昭和三十年代まで
紺屋町 (こんやまち)
と呼ばれていました。

「紺屋」とは染物屋のことで、江戸時代に城下町だったこの界限に、染物の職人たちが住んでいたことに由来します。明治に入ってから、生系の好況によって料理屋、待合茶屋などが建ち並び、華やかな町へと変わっていききました。

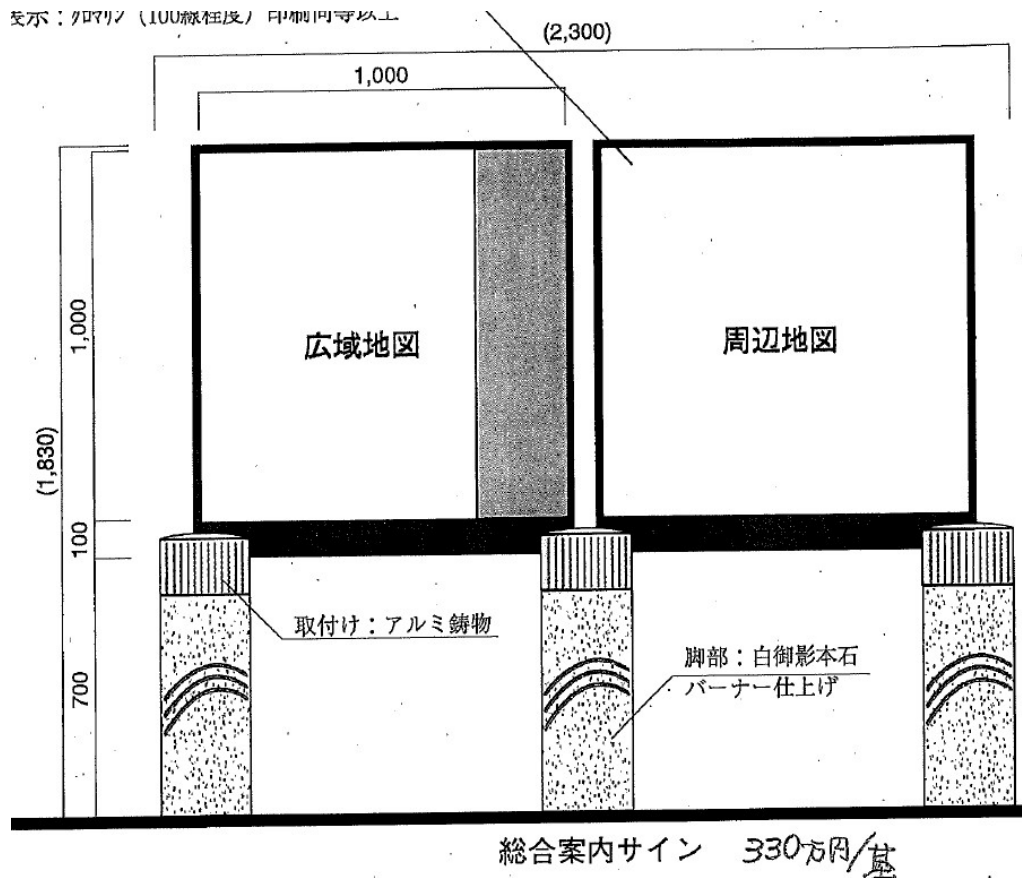
昭和初期の馬場川通り

QR

千代田町5丁目
Chiyoda-machi 5 chome

○総合案内サイン

※QRコードは「旧町名への旅」へ飛ぶ

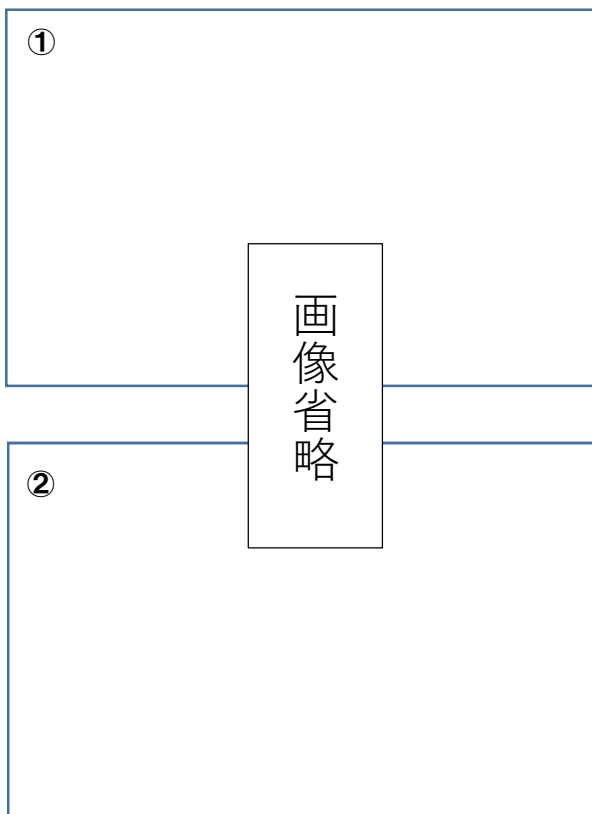


- ・上記の総合案内サインは3箇所
(前橋駅北口・前橋駅南口・市役所前)
- ・比較的板面が新しいことから、旧町名表示では使用しない (事業課方針)

【その他のヒストリックランドマークのデザイン】

歴史的事項	場所	考えるデザイン
前橋空襲の爆撃中心点	中央通り (グリーンウォーク入口)	<ul style="list-style-type: none"> レンガ (近隣の動向) 桑の葉 (桑町に由来)
連合共進会祝宴場	臨江閣別館近隣	<ul style="list-style-type: none"> 木枠に連合共進会の徽章 (蚕の蛾に群共と記す) 
ネオン初掲出地点	中央通り？	<ul style="list-style-type: none">
麻屋百貨店	イベント中央広場	<ul style="list-style-type: none"> 石製の土台+屋上のオブジェ 
...		

※爆撃中心点について



- 爆撃中心点は、「平和資料館検討委員会」から今年度中の設置が要望されている。
- 爆撃中心点とは、前橋空襲に際して米空軍が爆撃目標とした地点のことで、中央通りと前橋テルサをつなぐ「グリーンウォーク」の中央通り側あたりとされている。
- ①は、仙台市の事例であるが、中心点をマンホールのように地面に設置し、近隣建物の壁面に説明板を設置している。
- 本市でも同様の手法が想定されるが、当該地点の周辺は、GRASSA・なか又・つじ半などの民間出店の中心地であり、馬場川から続くレンガのイメージもある。
- そこで、②のようなレンガを用いた看板とし、板面左側に爆撃中心点の説明、右側に桑町時代の商店の様子などを記載する形式も事務局案として提示したい。

【参考】旧町名の表示手法と既存案内板の現状について

1 旧町名の表示手法

(1) 既存案内板がある旧町区域

- ・ 既存案内板の板面更新。
→ 板面シートを貼りかえる。

(2) 既存案内板がない旧町区域

- ・ 既存案内板の移設と板面更新。
→ 一つの旧町区域に複数ある既存案内板を移設し、板面シートを貼りかえる。

2 既存案内板の種類

(1) 総合案内サイン



- ・ 3箇所（前橋駅北口、前橋駅南口、市役所前）
- ・ 総合案内板については、比較的板面が新しいため、旧町名表示には使用しない。（事業課方針）

(2) 周辺案内サイン





- ・ 合計64箇所、うち厩橋地区内（重点区域）にあるのは45箇所。
- ・ 板面について、「損傷なし」「汚れ」「はがれ」「ひび割れ」「色褪せ」等の状態のものが存在する。
- ・ 国道、県道、市道によって、管理者が国、県、市となっている。
- ・ 一つの旧町区域に複数の既存案内板があるケースと、一つも既存案内板がないケースとがある。